

# ひばり



平成26年10月発行

一般社団法人 東員町文化協会 広報

発行／一般社団法人 東員町文化協会 三重県員弁郡東員町山田1700 東員町総合文化センター内  
TEL0594-76-7711 FAX0594-76-2888 E-mail info@toin-ca.org http://www.toin-ca.org



アンティーク・レース  
川松 由喜子

## 特別寄稿

### 伊勢大神楽

伊勢大神楽講師  
山本勘太夫社中

山本真也

皆様、伊勢大神楽をご存じでしょうか？恐らく町民の皆様のお大半がご存じでないだろうと思います。

伊勢大神楽は日本固有の古典芸能であり国指定重要無形民俗文化財に指定される家元が5つ存在しております。その内の一つが私が生を受けた山本勘太夫家です。私の父の代より桑名から東員に移り住んだ事もあり、それがご縁となつてか今回このような機会を賜りました。28歳の若輩者がこのような場をお借りして何を申し上げるべきか、大変悩ましいところではあります。大神楽師を職業とする私だからこそお伝えできる事をお話しさせていただきます。

伊勢大神楽という芸能を一言で表すなら「獅子舞」となるでしょう。若しくは「お伊勢さん」。人によっては「曲芸師」となるかもしれません。いえいえ他にも…。と言つた具合に、必ずしも一括りにできないのが、伊勢大神楽という芸能の奥深さであります。勿論、前述の表現は全て間違ひなどではありません。伊勢大神楽とは「400年以上も昔から、お伊勢参りが叶わぬ地方に住む人々の為、伊勢神宮の神札を配りに伊勢よりやってくる神楽職の家元」の事であり、広義には我々によって演じられる芸能そのものを伊勢大神楽と呼びます。本来は神職でありながら、大衆娯楽が発展した江戸時代を経て放下芸(いわゆる曲芸・軽技)と結びつき、他に例を見ない『娯楽色の強い神事芸能』として現代まで受け継がれております。

最後に、僅かながら自分の事についても触れたいと思います。今でこそ次代の山本勘太夫として芸能の先頭に立ち活動している私ですが、この芸能を志した当初は伊勢大神楽の家元を継ぐなど到底無理な話のように思えました。特別他人より優れた学力・運動能力・表現力など持ち合わせておらず、そのような人間が成功できるような甘い世界ではないと考えていたからです。しかし、単純に「伊勢大神楽が好きだ」というシンプルな思いを抱えたまま7年間走り続けた事で、

このような機会を頂けるまでになりました。私はまだまだ夢の途中です。今後も「好き」を職とする喜びを噛みしめながら、芸能の発展に力を尽くしていきます。

#### 略歴

平成18年 大神楽修行を開始  
平成20年1月 伊勢大神楽講師 山本勘太夫社中にて大神楽師として活動開始  
平成20年3月 名古屋商科大学を卒業



この広報誌は再生紙を使用しています。